

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第57回 ビジネス文書実務検定試験 (28. 11. 27)

第1級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- 1行の文字数を30字に設定すること。
- プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

第57回 ビジネス文書実務検定試験 (28. 11. 27)

第1級 速度部門問題 (制限時間10分)

本人を確認する方法として、生体認証が私たちの生活の中に普及してきている。それは、指紋や顔など、それぞれが持つ特徴を用いて、個人を識別する技術のことだ。中でも静脈による認証は、体の中にある血管で判別できるため、偽造やなりすましが困難である。さらに、経年による変化がないといわれ、登録は一度で済む。この新しい技術に対応したPOSレジに、指先や手のひらをかざすだけで認証し、決済ができるシステムが注目されている。	30 60 90 120 150 180 205
レジに装備されたセンサーからは、近赤外線が放射されている。この近赤外線は、血液中のヘモグロビンに吸収されると、静脈が影となる。それを撮影して得た静脈の画像と、事前に登録された個人のデータを照合することで、認証が実現する仕組みである。その後クレジットカード情報が読み出され、通常と同じ決済処理が行われるというものだ。	235 265 295 325 355 364
実用化に向けて、様々な場所で実証実験が進められている。国内では、ある企業の社員食堂で行われた。レジの前で財布や社員証を出すことがなくなり、それまでの行列が解消される効果などが確認された。また、海外でも積極的な取り組みが行われている。ある国ではレストランを使って、静脈を利用した決済の試験が行われている。早ければ来年には、商業利用が開始される予定だという。	394 424 454 484 514 543
この決済方法が実現されれば、何も持たなくても円滑な支払いが可能となる。例えば、温泉施設やプールで、精算用のリストバンドを身に付ける必要がなくなる。他にも銀行や空港、オフィスなどの幅広い場所での活用も考えられている。静脈による生体認証の導入などが進み、本人を確認する精度が高くなり、安全で便利な時代が実現する日は、着実に近付いている。	573 603 633 663 693 710